

A0053 301系 東西線 青帯・冷房車 基本5両セット

再生産

予価:15,500円(税別)

JANコード:101872 カートン内入数:12

A0055 301系 東西線 青帯・冷房車 増結5両セット

再生産

予価:12,000円(税別)

JANコード:108109 カートン内入数:12

商品形態 Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 ブックケース入)

実車

301系は中央・総武緩行線と営団地下鉄東西線との相互乗入れ用として、1966年に誕生したアルミニウム合金製の車体を持った通勤型車両です。103系を基本としていますが、地下鉄乗り入れのため前面は貫通型となっています。主抵抗器も地下鉄内での騒音防止のため自然通風式となりました。登場時はアクリルクリアラッカー仕上げでしたが、後に灰色に塗装されました。帯色も当初は黄色でしたが、中央・総武緩行線の205系との誤乗車防止のため青帯に変更されました。7連8本が製造されました。1981年より輸送力増強のため10両編成に組み替えられ、その際に電装解除車や運転台撤去車が登場しています。1989年以降は冷房改造車も登場しています。2003年1月に置換用としてE231系800番台が落成、5月から営業運転を開始し301系は103系1000番台・1200番台とともに2003年6月に引退しました。当セットは引退直前に三鷹電車区(ハミツ)に所属していたK3編成です。

商品概要

- ・マイクロエース通勤型電車シリーズの更なる充実
- ・多くのリクエストにお応えして301系東西線を再生産
- ・冷房改造された末期の姿を製品化
- ・中間封じ込め先頭車を再現したセット(A0055)
- ・ヘッドライト、テールライト、行先表示点灯。LED使用(ON-OFFスイッチ付)
- ・車内には吊り革パーツを装着済

グレーのボディに青い帯。東西線用301系末期の姿

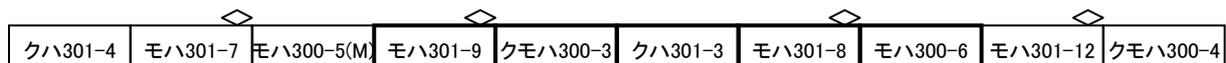


- ・先頭車側面にJRマーク印刷済
- ・乗務員扉は銀色で塗装
- ・冷房改造された賑やかな屋根上を再現
- ・DT34、TR204の2種類の台車を作り分け
- ・クハ301にはジャンパ栓受パーツを取付済
- ・クモハ300-3、クハ301-3は中間封じ込めの姿(A0055)
- ・モハ301-9は弱冷房車マーク印刷済(A0055)

編成図

A0053

A0055



ライト

←西船橋

ライト

中野→

JR東日本商品化許諾済

オプション

幅広室内灯:G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロカプラー密連・黒:F0001

付属品

行先ステッカー×1枚